

2018年7月12日
クレスコワイヤレス株式会社

弊社製ビーコン(Beacon-02、Beacon-03)の取扱上の注意点

日頃、弊社製品をご利用いただき有難うございます。

製品出荷数量の増加に伴い、長期間のご利用、設置場所や利用方法の多様化、電池交換の頻度など、ご利用状況によっても異なりますが、「新しい電池に交換してもビーコン信号を発信しない」とのご報告をいただくことがございます。

本件に関して、以下、ご案内させていただきますので、お取り扱い上、ご留意いただけますよう、お願い申し上げます。

記

1. 発生する可能性のある状況

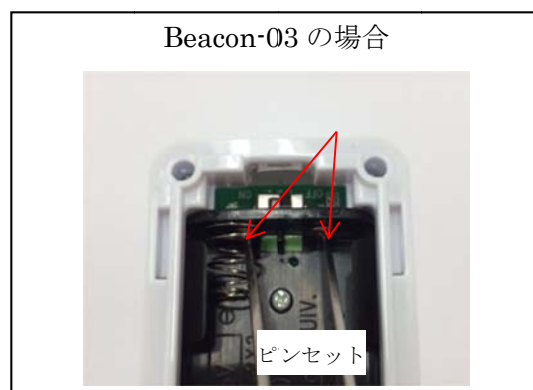
- (1) Beacon-02 の電池交換時
- (2) Beacon-03 の電池交換時、電源スイッチの OFF/ON を短時間で行った場合
- (3) Beacon-03 に関して、落下あるいは衝撃が加わり、電池が電池端子から離れる（電源が瞬断される）ような状況が生じた場合
- (4) 両製品に共通して、電池交換の際、電池が端子に、触れたり離れたりする（OFF/ON が短時間で行われる）ような状況が生じた場合
- (5) 上記に限らず、同様の状況が生じる使用条件となった場合

2. 発生理由

上記発生状況下では、製品で使用しているコンデンサにチャージされた電荷が放電できず、リセットが行われるレベルまで電圧が低下しないため、電池を挿入してもリセットスタートされず、動作しない（ビーコン信号を発信しない）状態となります。

3. 対処方法

(1) 電池を取り出した状態で、基板や電池ボックス内のプラス (+)、マイナス (-) 端子を、クリップやピンセット等の金属物で短絡（ショート）して下さい（コンデンサの電荷を放電させるため）（下図参照）。なお、Beacon-03 は、電源スイッチ OFF の状態で行って下さい。



(2) 電池を取り外した後、数分間放置した後に、電池を挿入することで復帰することもあります。ただし、ビーコン信号を発信しない状態に入った状況によってはコンデンサの電荷の放電に要する時間が異なるため、短時間で確実な対処方法としては、上記(1)の対処をお勧めいたします。

(3) Beacon-03 の電池交換の際には、必ず、電源スイッチを OFF にしてから、電池を取り外し、電池挿入後に電源スイッチを ON にして下さい。

以上